

達成度：H24.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

まちづくり課の目標（平成23年度）自己評価書

まちづくり課長 土屋 新一

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 交通安全対策事業（維持管理班）</p> <p>交通安全施設の管理については、定期的な道路パトロールや地元からの通報により、補修箇所を確認し適正な維持管理を行います。なお、最小の経費で最大限の効果を得られる施工を実施します。</p> <p>交通安全施設の新設については、道路パトロール及び地域自治会からの要望を受け、優先箇所に設置することにより道路の円滑な通行及び交通安全施設の充実を図ります。</p> <p>なお、国道296号尾上交差点の右折レーン設置については、道路管理者であります千葉県と協議を行い年度内の事業化を目指します。</p>	4	<p>1 道路パトロールや地元からの通報によりカーブミラー等の施設の修理を、経費節減のため極力既存物の修理に努め、効果的に実施しました。</p> <p>また、国道296号東酒々井入口交差点については、県の右折レーン計画案について交通管理者（県警交通規制課）と協議が整ったことから、平成24年度から用地を取得します。</p>
<p>2 防犯街灯整備事業（維持管理班）</p> <p>町管理防犯街灯については、適正に維持管理を行い犯罪や交通事故の防止を図り、安全な環境を整備します。</p> <p>自治会管理防犯街灯の電気料金・修繕料について、電気料金は費用の70%、修繕料は費用の50%の補助を行います。また、新規設置及び全改修については、費用の50%の補助を行いますが、要望内容をお聞きした上で、設置後の効果が高い箇所を選択し、地域住民の夜間の防犯及び交通安全の推進を図ります。</p>	5	<p>2 町管理防犯街灯の電球、自動点滅器交換や柱の腐食修理等の維持管理を適正に行いました。</p> <p>また、各自治会への新設費や改修費補助、電気料補助等を行いました。</p>

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>3 道路の維持・管理（維持管理班）</p> <p>町道の維持管理については、緊急性のあるもの、中期・長期的に分けて維持管理計画を策定し、限られた予算内で有効的な舗装修繕を行ってまいります。また、定期的な道路パトロール及び地域住民からの通報や要望を受け、道路補修・側溝清掃・除草等可能な範囲を職員や近隣住民の協力を得ながら、道路機能の維持等について迅速な対応を図ります。</p>	4	<p>3 町道の維持管理については、緊急性や痛み具合を勘案し、舗装の打ち換えや部分的な穴埋めなどの補修を行いました。維持管理計画については策定していません。</p> <p>また、橋梁については点検を実施し、その結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。</p>
<p>4 適正な土地利用の促進（計画整備班）</p> <p>都市的土地利用が進まない市街化区域内の未利用地について、乱開発の防止やスプロール化の抑制を図り、適正な土地利用への誘導、促進に努めます。また、民間宅地開発事業者等を適正に誘導するため、宅地開発指導要綱や建築基準法に基づき、無秩序な開発やミニ開発などの抑制に努めます。</p> <p>酒々井町の将来都市像及び土地利用を明らかにするための、各地域ごとのまちづくりの方針を策定する「都市マスタープラン」の改定を行います。</p>	4	<p>4 酒々井上宿地先の民間宅地開発及びその他個別の開発行為について指導を行い、市街化区域内未利用地の適正な開発誘導に努めました。</p> <p>都市マスタープランについては、策定委員会を2回開催し、都市の将来像及び基本方針を策定しました。</p>
<p>5 住宅リフォームの促進（計画整備班）</p> <p>酒々井町住宅リフォーム補助金制度の交付要綱の策定並びに助成制度の普及に努めます。</p>	5	<p>5 平成23年度より補助金制度を実施し、実績ベースで57件、補助金額453万円、総工事費6,415万円であり、町民の生活環境の向上や町内施工業者の活性化を図る効果がありました。</p>
<p>6 都市計画道路（墨・七栄線）の整備（計画整備班）</p> <p>（仮）酒々井インターチェンジの設置により周辺地域の効果的な土地利用を図るため、都市計画道路である墨・七栄線の整備を推進します。なお、道路整備工事については、平成24年度を事業完了目標に進めて参ります。</p>	4	<p>6 高崎川を挟む南北の横断町道をカルバート化させ、併せて盛土工事を実施しました。また、主要地方道富里酒々井線側について、用地買収を進めています。</p>

<p>7 主要幹線道路の整備（計画整備班） 既設道路の改修と交差点改良等を実施計画に基づき整備し、交通の安全や渋滞の緩和を図ります。</p> <p>8 中川流域の水害対策の推進（計画整備班） 中川流域水循環系再生計画策定委員会の提言や、庁内検討会の報告書を踏まえハード整備に先行して宅地内の浸透施設設置の普及に努めます。</p> <p>9 酒々井IC整備促進事業（維持管理班） 酒々井ICの早期完成を目指し、県より委託を受けて、地元対策・用地買収を行います。</p> <p>10 チャレンジ目標 社会資本整備総合交付金事業により進められている道路整備及び防災拠点の整備については、計画的な用地交渉、施設整備を進めて参ります。住宅リフォーム補助金交付制度に併せ宅地内の雨水抑制施設（浸透トレンチ・貯留浸透槽等）設置の追加補助金を交付し、中川流域への雨水抑制を図ります。 また、新たに一般の住宅の耐震化対策としての耐震診断・改修の補助金制度を制定するための要綱の策定を行います。</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>7 前年度に引き続き用地買収を進めていますが、一部条件が折り合わず難航している箇所があります。</p> <p>8 住宅リフォーム補助金交付制度に併せ宅地内の雨水抑制施設（浸透トレンチ・貯留浸透槽等）設置の追加補助金を交付し、普及に努めましたが、実際に利用した者はいませんでした。</p> <p>9 県事業分の約96%（計画10.5haのうち実績10.1ha）が買収済となり、ほぼ円滑に工事が進んでいます。</p> <p>10 道路整備については、用地交渉等の遅れにより一部繰越ししている状況です。 住宅リフォーム補助金交付制度に併せた宅地内の雨水抑制施設（浸透トレンチ・貯留浸透槽等）の設置は実績がありませんでした。 耐震診断・改修の補助金制度については、要綱を策定し、既に24年度初頭より実施しています。</p>
---	---	--